

人とともに 地域とともに 島根大学

*shimadai



[特集1]

学長×島根県知事 スペシャル対談

産官学協働による「島根創生」の実現

vol. **50**
shimadai

2021.12 [特集2]島根大学におけるSDGsの取り組み

丸山知事(以下知事) 島根県の人口は長らく減少傾向が続いており、現在は約67万人です。人口減少に打ち勝つためには、次世代を担う存在を島根に増やすことが必要です。若者や子どもたちが増えて活気にあふれ、県民一人一人が愛着と誇りを持って幸せに暮らし続けられる島根を目指し、2020年3月、「島根創生計画」を策定しま

若者や子どもたちを増やし人口減少に打ち勝つ

島根県人口の減少傾向が続く中、多くの若い世代に島根で暮らすことを選択してもらおうことは、地域の活性化に欠かせません。「島根創生計画」を掲げ、人口減少に打ち勝つて、笑顔で暮らせる島根を目指す丸山達也知事と、県内唯一の国立大学として、地域のステークホルダーと協働して次世代を切り拓く人材育成に努める服部泰直学長に、産官学協働による「島根創生」の実現について話を聞きました。

が、県内各産業の活性化によって所得を向上させ、魅力的な仕事を増やすことです。バラエティに富んだ、ボリュームある産業を活性化させ、「島根には働きたい場所がない」という声を解消します。島根の合計特殊出生率は1.69と全国2位(2020年)。育児をしながら働く女性の割合も全国トップクラスです。保育所の待機児童ゼロなど、子育てと仕事を両立しやすい環境が整っているのが要因だと考えています。今後、市町村とも協議しながら、放課後児童クラブのニーズへのさらなる対応や、子ども医療費助成制度の充実などを図ることで、今以上に子どもを産み育てやすい地域づくりを目指しています。

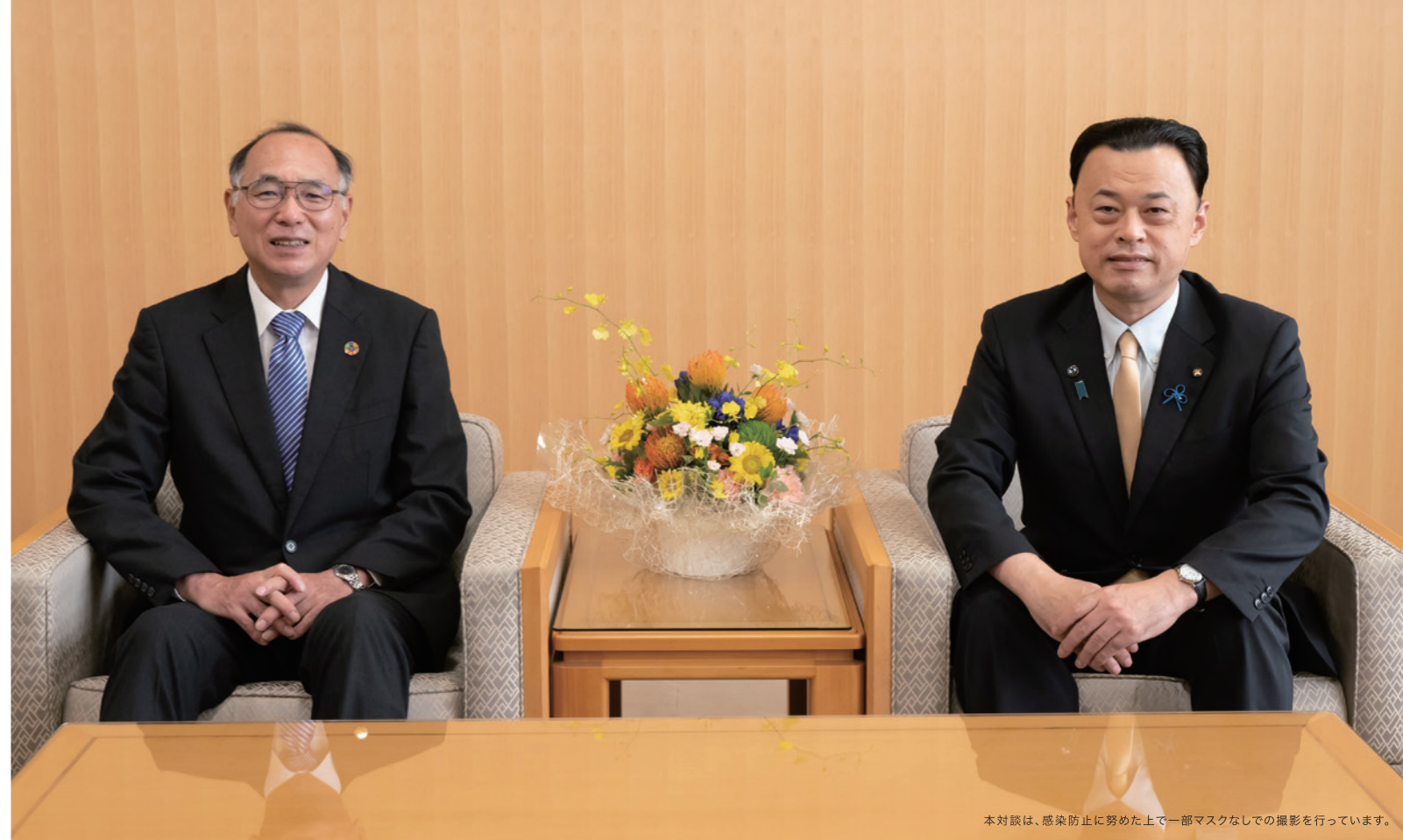
服部学長(以下学長) 県内に定着する学生を育てるために、まず、現在約2割程度の県内高校出身の入学者を増やすことが重要だと考えています。特に医学を含む理系学部の定員数は全体の約3分の2を占めるにもかかわらず、県内出身者の割合は15%程度と低いのが課題です。要因の一つは、大学で学ぶ工学や農学系の学問は、小中

高校で学ぶ理科や数学の授業からはイメージしづらい点です。高校生に、大学での学びだけでなく就職まで意識したキャリアパスを示し、島根で働くイメージを抱いてもらえればと考えます。

知事 県民の暮らしやすさを向上させるのが第二ですが、県外の人に島根の魅力を発信することも大切です。コロナ禍で国はテレワークを推奨しましたが、大企業でも意外と進まず、依然都市部の住民は長距離通勤を余儀なくされています。一方、島根での暮らしは、職住接近でプライベートな時間をもちやすいのが大きな強みです。豊かなライフスタイルのあり方をもっと発信していきたいと思っています。

学長 県外出身者に卒業後、島根に残ってもらうために、偏差値に依存した進路選択ではなく、島根大学や島根そのものに魅力を感じて欲しいと考えています。また、TSKグループ、島根電工グループ、オネスト等の県内企業からの寄附による県内就職・定着を目指す学生に対する奨学金制度を始めます。県内の様々な方々と協力して卒業生の県内定着を実現していきます。

本学は2021年度入試から、



本対談は、感染防止に努めた上で一部マスクなしでの撮影を行っています。

島根大学 学長 服部 泰直 × 島根県知事 丸山 達也

HATTORI YASUNAO MARUYAMA TATSUYA

特集1 学長スペシャル対談

産官学協働による「島根創生」の実現に向けて

Vol.50 CONTENTS

【特集1】
学長スペシャル対談
島根県知事 丸山達也氏 01

【特集2】
SDGsの取り組み 05

【特集3】
大学発ベンチャー「PuREC」... 07

■留学生・留学体験紹介 09

■島根大学の研究・地域貢献事業紹介

①教育学部 長谷川 裕之 准教授 11

②医学部 大野 智 教授 13

③総合理工学部 小暮 哲也 准教授 15

■社会で活躍する卒業生 17

■たたら通信 19

■しまだい便り 21

■学生広報サポーター企画 23

■サークル紹介 24

■島根大学支援基金より 25

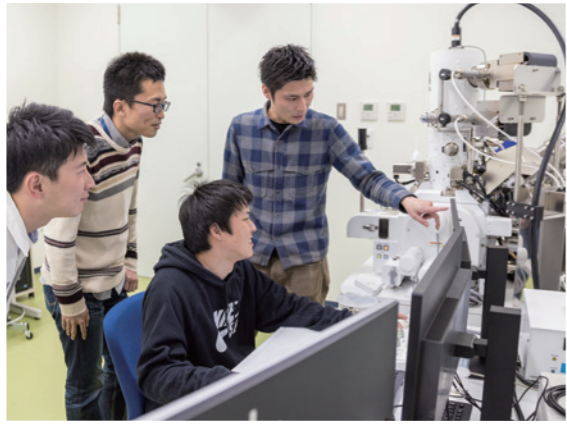
■読者プレゼント 25

企画・制作
株式会社メリット

デザイン
有限会社node

タイトルロゴデザイン
松陽印刷所デザイン室 森脇 祥吾

表紙/対談を行った服部学長と丸山知事



研究棟の最新機器を使って学ぶ学生の様子

ます。デザイン思考やデータサイエンスを学ぶとともに、長期インターンシップで企業との研究にも参加。オックスフォード大学との連携を核に国際性もしっかり育みます。アントレプレナーシップに富んだ有為なエンジニアを輩出していきたくと思っています。

知事 一社の企業では成し得ないことも、研究機関と行政、複数の企業が協創するプロジェクトだからこそ実現できるのです。島根は人口が少なく、企業数も少ない。しかしそれはハンディではありません。まとまりがあり、顔が見える関係だからこそ、意思決定が早く状況変化にも対応できるの

**小さいことは
ハンディではない。
まとまりがあり、変化に
即応できる強みがある**



丸山 達也
1970年福岡県生まれ。1992年自治省(総務省)入省。その後、埼玉県、長野県、島根県に転出。2016年4月から総務省消防庁国民保護室長を務めた後、2018年12月に総務省を退職。2019年に島根県知事に就任し、現在1期目。趣味は野菜栽培(プランター)、読書。座右の銘は「積小為大」「臨機応変」。

偏差値を中心に評価される世界からの脱却を目指し、多面的評価による総合型選抜「へるん入試」を導入しました。また、2020年に設立された県内高等教育機関と自治体、地元企業などによる地域連携プラットフォーム「しまね産学官人材育成コンソーシアム」を活用し、学生が地元企業や地域の魅力を知り、県内定着につながるよう、4年間の在学期間全体を通して、切れ間なく支援していきます。



2020年3月に開催された「しまね産学官人材育成コンソーシアム」協定締結後の運営会議の様子

**人生観のトレンドを変え
地方創生を実現する**

です。コロナ禍で航空機業界は大きなダメージを受けていますが、研究自体はストップしていません。「しまね産学官人材育成コンソーシアム」や「次世代たたらプロジェクト」を通して、多重的にコミュニケーションを取ってきたからこそ、確実に需要が戻ってくるアフターコロナに対応できると考えています。時間はかかるかもしれませんが、最終的には、県内企業でプロジェクトの成果を製品化するという形のアウトプットが理想です。

知事 地方創生を実現するためには、人間の人生選択のトレンドを変える必要があります。たとえば今までは、進学するなら県内より山陽や関西、偏差値の高い大学、住むなら人が多くてにぎやかで、電車がいっぱい走っているような町がいいとされてきました。選択肢が多い場所が輝いている町、地方は「負けている」といった東京中心の価値観がメディアなどによって流布されてきました。

しかし、近くに大きな繁華街や

**先端金属材料分野を核に
“尖った”学びや産業を**

知事 「島根創生計画」では、若者の雇用を増やすため、「力強い地域産業づくり」を大きな柱として掲げました。その先導的な取り組みの一つが、2018年度から始まった「次世代たたらプロジェクト」です。産官学が連携して、先端金属材料のグローバルな生産拠点の創出を目指すもので、航空機エンジンの素材生産や超高性能のモーター用の素材加工など、どこにもできていないことを進めています。ここでしかできない、「尖った」学びや研究、産業を根付かせていきたいと考えています。

学長 プロジェクトの研究・教育の中核を担う「次世代たたら協創センター」は、オックスフォード大学のロジャー・リード教授をセンター長に招へいしているほか、国内外の優秀な研究者らが名を連ねています。オックスフォード大学とは、毎月1回オンラインで研究内容を共有しており、今年度中には本学の研究者との共著論文が発表される予定です。学生もオンラインでリード教授を始めオックス

ショッピング街があるにせよ、楽しむのは月に1度程度で、普段は長時間を通勤に費やし、ラッシュにもまれている人も多くいます。若く健康な人にとっては良くても、乳幼児や高齢者、彼らと生きる人たちにとっては暮らしていく面も少なくありません。今までは、東京の良さだけが社会全体の価値のよさに発信されてきました。しかし人生というスパンで生活全体を考えると、東京と遜色ない良さが島根にはあります。行政はもちろん、教育界、産業界それぞれが島根で暮らす良さ、東京にはない価値を努力して伝えていく必要があると思います。

学長 県外出身の学生が島根に残りたいと思うには、学生個々の人生観が変わることが必要と考えています。学生の琴線に触れる取り組みを行っていくことが重要だと思います。また、オンラインを指す大学としては、まず先端金属材料の研究では他に類がない存在に育て上げ、国内はもちろん国際的にも認知されるようにしたいです。島根で探究された学問が、地域貢献として根付き、島根の未来が拓けていけば嬉しいです。

フォード大学の先生による授業を受けています。地元企業に対しては、今年からセミナー方式のNEXTAフォーラムを実施し、プロジェクトの成果を県内の企業で活用できるような取り組みをしています。

さらに本学は、「次世代たたらプロジェクト」で伸びてくる材料科学分野を核にした、特色のある「尖った」学部—マテリアル創成工学部(仮称)の新設を構想しています。実務家教員を採用し、企業のニーズを見据えながら大学のシーズを作っていくような、産業界に直結した学部をイメージしてい



2021年4月にオープンした次世代たたら協創センター研究棟ロビー

**学生の心に響く
オンリーワンの魅力で
選ばれる地域や大学に**

服部 泰直

1956年長野県生まれ。1993年4月島根大学理学部助教授、1995年6月島根大学理学部教授、同年10月島根大学総合理工学部教授、2011年10月島根大学総合理工学部長、2012年4月島根大学大学院総合理工学研究科長。2015年4月に島根大学学長に就任。趣味はサッカーで、国体出場経験も。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs × 島根大学

特集2

世界と未来のために、今取り組むべきこと 島根大学のSDGs

島根大学では、令和元年11月に「島根大学SDGs行動指針」を策定し、大学の経営戦略にSDGsの観点を取り入れ、地域や国際社会と一体となってSDGsの目標達成のために取り組んでいます。

Q.1 SDGsとはなんですか？

一言で言えば、「地球とそこに暮らす人間を含めた動植物が未来においても暮らしていけるために、人類として一人一人にできること」です。SDGsのよきな内容や取り組みは、これまででも、何らかの形で全ての人や地域、国が行ってきたものです。「未来」が地球と人類を含めた生態系にとって、生き生きと活動できる場所であり続けるために、2030年までに取り組むべき目標が定められた、ということなのです。

Q.2 SDGsが必要になった背景は？

世界には、環境的にも社会・経済的にもさまざまな解決すべき問題が山積しています。科学的な見地から、ただちに解決をはからないと、地球の環境が取り返しのつかない状態までに悪化し、人類の「現在の暮らし」が将来において維持できないことが予見されています。そこで、人類・世界が同じ目標を設定し、達成の期限を決めて取り組む必要が生じたのです。

Q.3 SDGsの目標とターゲットとは？

17個の大きな目標と、それらを達成するための具体的な内容や数値目標の169個のターゲットと呼ばれるものがあります。並び方には意味があり、1から6までの目標は、主に「人の生活に関わる」内容、7から12は「社会や経済に関わる」内容、そして13から17が「自然環境の保護と人の行動に関わる」内容となります。全ての人が、生活や仕事をするにあたって、必ずどれかの目標につながるよう工夫されています。

SDGs 17の目標(ゴール)



Q.4 どんな方法で貢献できますか？

個人で言えば、起きてから寝るまで、全ての行動・活動がSDGsの17の目標のどれかに関係しています。また、会社・企業であれば、業務内容そのものが、SDGsに直結しています。つまり、日常の全ての場面で行動が重要なのです。消費者にとっては、一人一人は小さな存在かもしれませんが、消費活動の中心が個人の担う部分が大きいとすると、一人一人の行動こそが、SDGs達成への鍵とも言えるでしょう。

島根大学のSDGs博士こと
松本一郎教授の
すぐわかるSDGs講座



PROFILE

松本一郎 教授(教育学研究科)
1991年島根大学大学院を修了、2001年より同職。SDGs/ESDを中心とした環境・防災/減災教育、理科教育を柱に、地球科学分野の専門研究を行う。島根県の環境総合計画(2021-2030)の策定に委員として参加したほか、山陰両県のSDGs啓発活動にも力を入れている。

SDGs × 学生



SDGsの視点から 地域課題解消のアイデアを探る

9月12日に出雲市で、様々な問題に直面する島根県の未来を切り拓くための考え方やヒントについて学ぶ「地域未来づくり人材セミナー」が開催され、島根大学からは地域人材育成コースに所属する1年生5名が参加しました。

イベントでは、グループに分かれ、「THE SDGs アクションカードゲーム X (クロス) 出雲市版」を行いました。これは、出雲市の地域課題を調査し、出雲青年会議所が島根大学の学生、出雲市と共に協力して作成したカードゲーム教材で、参加者たちは、出雲市の地域課題をSDGsの視点から考え、課題解消のためのアイデアを出し合いました。

参加学生の声

SDGsをより身近に考えるきっかけに

近年よく耳にするSDGsについてもっと知り、身近に考えられるようになりたいと思い、このイベントに参加しました。このイベントで行われたSDGsカードゲームを通して、各々の課題に適した解決策があるだけではなく、同じ資源を使ったアプローチ法があったり、ある課題を解決すれば他方の課題も自ずと解決されたりと、課題を独立させて捉えるのではなく、総合的に俯瞰し、解決策を考えることの大切さを学ぶことができました。



医学部 医学科1年 門脇 彩里

SDGs × 研究



太陽光と水から水素エネルギーを造る 人工光合成で地球温暖化と脱炭素に挑む

脱炭素社会を実現し地球温暖化を防ぐためには、二酸化炭素を排出しないクリーンなエネルギー源として注目されている「水素」を、環境に対して低負荷かつ持続的に製造していく必要があります。私たちの研究グループは、植物の光合成を科学的に模倣した人工光合成と呼ばれる科学技術で、水と太陽光から水素を造る研究を推進しています。



総合理工学部 物質化学科 片岡祐介 助教

SDGs × 研究



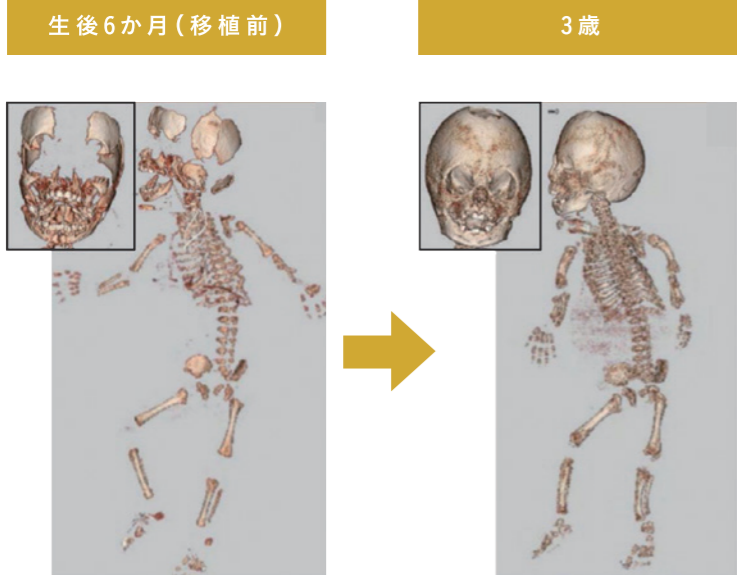
子ども・若者の孤立・貧困問題への 文理融合アプローチ

数理・データサイエンス教育研究センターと法文学部・人間科学部の教員がチームとなって、学際的な共同研究体制を構築することで、子ども・若者の孤立・貧困に関する調査研究を行っています。また、子どものwell-beingと若者の地方への新しい人の流れをつくるため、大学の文理融合チームと自治体、地域の関係団体等による産官学連携プラットフォームの構築も目指しています。



法文学部 法経学科 宮本恭子 教授

世界初の間葉系幹細胞を用いた骨再生治療



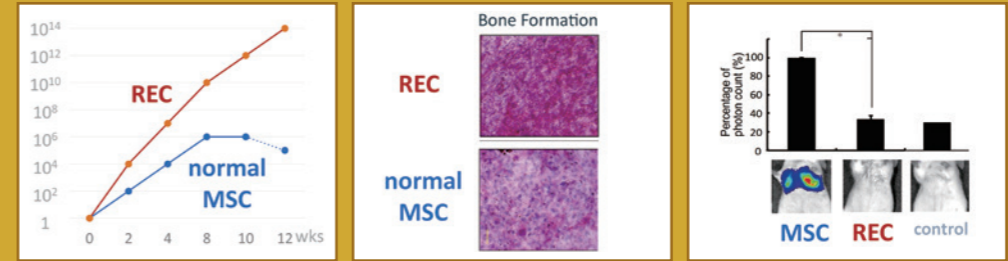
Taketani T et al. Cell Transplant 2015

世界初の移植試験開始 各種疾患への活用進む

にも優れた高純度間葉系幹細胞（REC）を分離精製する方法を確立。マウスでの実験でも、従来のように細胞が肺に詰まらないため、一度に大量投与が可能であることも確認されました。

安定的に採取でき、冷凍保存が可能な研究用RECのニーズは高かった上、再生医療で臨床応用できるようなグレードアップを図るために2016年、会社を設立。会社名は、「Pure」（不純物が入っていない）と、「clone」（細胞）を掛け合わせ、研究開発を進める「REC」も入れ込んだ「PuREC」と命名しました。

高純度間葉系幹細胞 REC : Rapidly Expanding Cells



驚異的な増殖能

高い純度をもつRECはシングルセルから10¹²個まで12週間で増殖する。

生産性

明確な分化能

通常のMSCと比較して、RECは明確な分化能をみせる。骨形成については、特に顕著。

有効性

高い遊走能

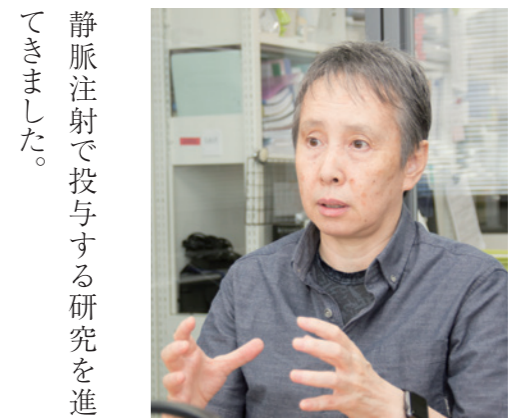
通常のMSCはマウスに静脈内投与すると肺塞栓を起こし死亡するケースが多い。RECはそのような兆候なし。

安全性

高純度間葉系幹細胞の分離精製法を確立

MSCは、人間の骨髄や脂肪組織などから採取できる幹細胞で、骨や軟骨、脂肪などへの多様な分化能を持っています。倫理的な問題が少ない上、比較的簡単に採取、培養できることから、既に国内外で医師主導の臨床試験が行われており、医学部小児科学講座の竹谷健教授も、骨の形成が困難な難病「低ホスファターゼ症」の患児に

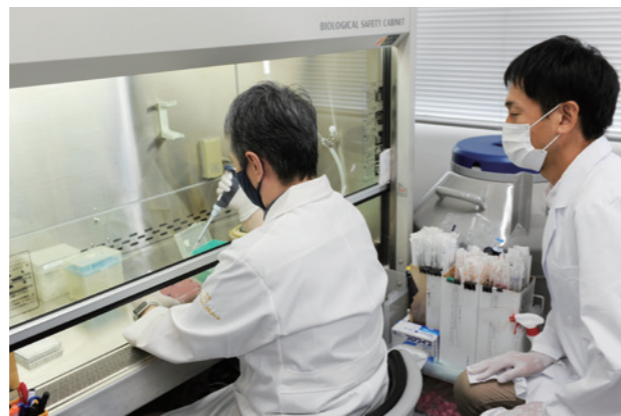
世界的にも高水準の間葉系幹細胞（MSC）製造を推し進めている大学発第3号のベンチャー企業「PuREC（ピュレック）」を開発した高純度MSC「REC」を難病患者に移植する世界初の試験も始まる中、同社取締役で、医学部生命科学講座の松崎有未教授に聞きました。



PuREC株式会社の取締役を務める松崎有未教授

静脈注射で投与する研究を進めてきました。

しかし、従来用いられていたMSCは、分化・増殖能力の低い細胞が多く混じっていたため、再生能力が限定的でした。また、不純な細胞が毛細血管などに詰まりやすいため、少量ずつ複数回に分けて患者に投与する必要があったり、治療効果や、患者とドナーの負担、コスト面などに課題がありました。そんな中、松崎教授は、超高純度で増殖能力が高く、さまざまな細胞に分化する能力や、移植した細胞の生着率



松崎教授の研究の様子

期待しています」。アメリカの患者団体からも、同国での試験を望む声が届いているそうです。

現在は、椎間板ヘルニアや軟骨損傷、変形性関節症など整形外科領域での活用を目指して動物実験を実施。早いものでは2022年春に、試験が開始される予定です。「まずは、低ホスファターゼ症患者への試験を成功させたいです。RECは、免疫抑制作用もあると言われているので、免疫系疾患に関する基礎研究も進めていきたいですね」。

島大発バイオベンチャーが開発した移植細胞REC 難病に対する新治療法「REC移植」の試験を開始



3 すべての人に健康と幸せを



留学生・留学体験紹介



FROM



出身国

バングラデシュ

イスラム・エムディ・マルフル

Islam MD Maruful さん

(総合理工学研究科 博士後期課程 3年)

「グローバル課題解決型研修」に参加



オンラインでの受講風景



オンライン研修

タイ

やすひろ

安広 ゆいさん

(教育学部 言語教育専攻 4年)

他国の取り組みや課題を知り
私たちにできることを考え直す機会に

9月13日〜24日までの2週間、タイ・チェンマイ大学のオンライン研修に参加しました。今回のカリキュラムには、SDGsに関する講義やタイの学生との交流が含まれていて、将来教員になるにあたって、SDGsの知識を身に付けておきたいと考え参加を決めました。

授業は、毎日2〜3項目のSDGsの紹介と、他国の取り組みや状況について説明があり、その授業を基にしたディスカッションやプレゼン発表などを行いました。他国の取り組みの中で印象に残ったのは、アプリケーションなどを用いて、廃棄予定の食品を必要人に配布する企画です。日本でも弁当等の廃棄が多いというニュースをよく耳にするので、必要としている人に届け、廃棄量を減らす取り組みとして、多くの場所で企画すべきだと感じました。研修を通じて他国の課題を知ることができ、私たちに

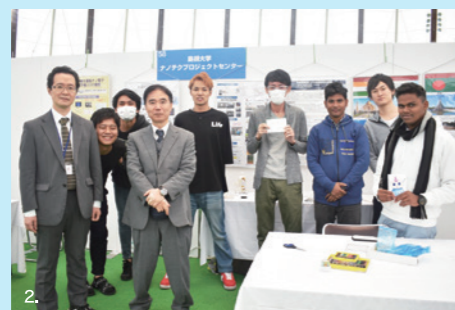
きることを考え直す良い機会になりました。英語で話すことに対する抵抗も減り、ディスカッションやプレゼンにおいて自分の意見を分かりやすく伝えるために、どのように話を組み立てればよいかのコツがつかめたと思います。私自身、環境に優しい行動を心掛けるとともに、将来教員になった際に、生徒にSDGsについて考えるきっかけを与えていきたいと思いました。

MEMO

グローバル課題解決型研修とは？

本学の協定校であるタイ・チェンマイ大学と協力して実施する研修で、2017年度から毎年チェンマイにおいて実施してきました。2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止となりましたが、今年度はSDGsをテーマとして、初めてオンラインでの研修が実現しました。今回の研修には、法文学部、教育学部、人間科学部、生物資源科学部から計10名の学生が参加しました。

外国人にも優しい学びの環境で
専門分野の膨大な知識と経験を得る



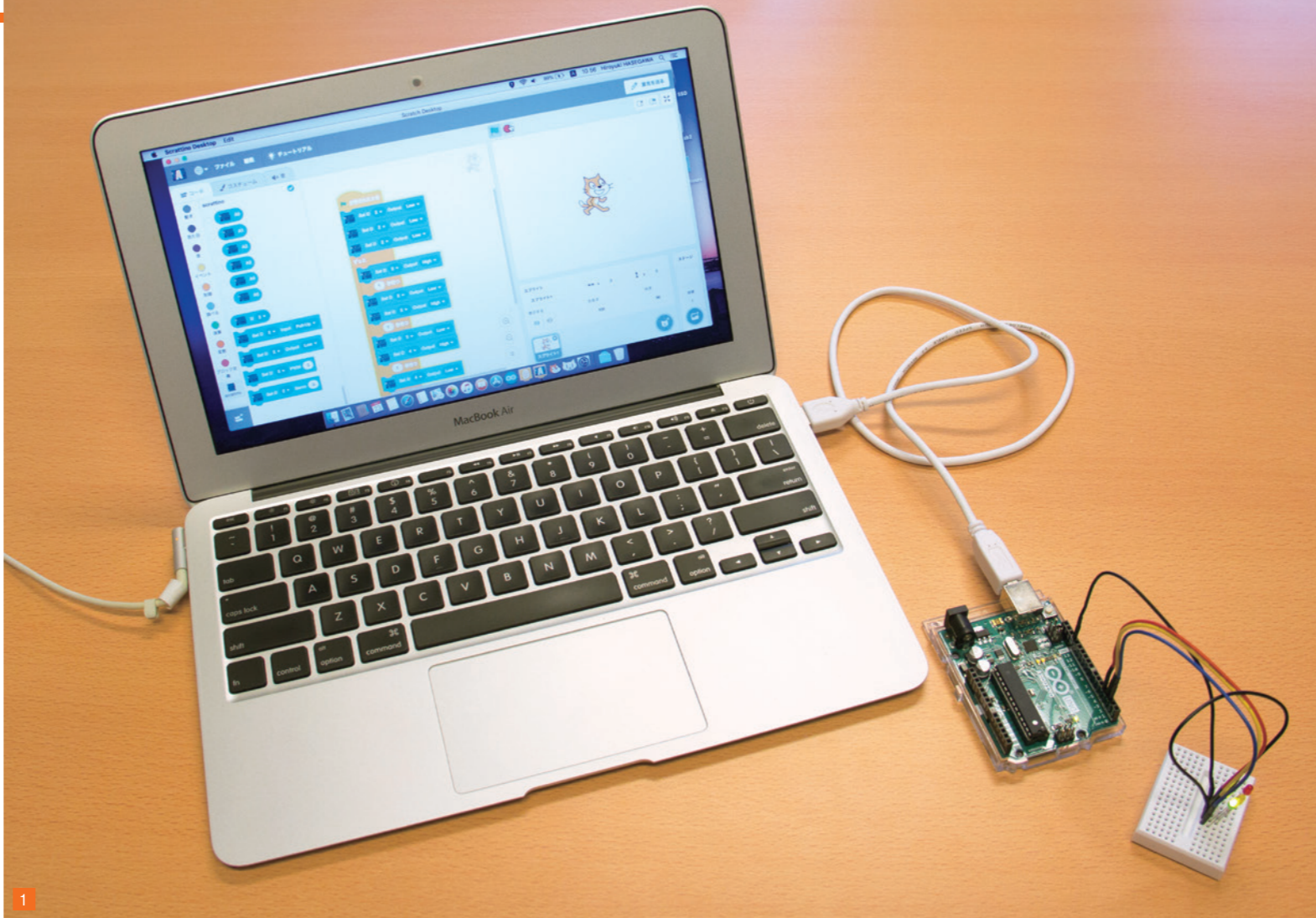
1. 留学生と日本人の友人でクリケットクラブを作り、地域の方たちと交流会をしました。2. いずれも産業未来博に島根大学ナノテクプロジェクトセンターから参加しました。

高校時代から、私にとってテクノロジーを探索することは大きな関心事でした。大学卒業後に一度就職しましたが、工学分野の研究が進んでいる日本で学びたいと思い、留学を決意しました。現在は、ナノ粒子ベースの半導体デバイス（薄膜トランジスタ）の製造について学んでいます。留学当初は、特に実験装置を使う際の日本語がとても難しく、言葉の壁を感じました。そこから日本語を学び、できるだけ他の学生とコミュニケーションを取るようになりました。現在所属している研究室の日本人学生はとても親切で丁寧に教えてくれるので、本当に楽しく学んでいますし、テクノロジーに関する多くの知識を得ることができました。卒業後は日本で就職して経験を積み、将来的には、母国の半導体産業の発展に寄与していきたいです。

プログラミング活用した 理科教材開発を展開 論理的思考を育む

プログラムの構築は
理科学習自体にも効果

子供たちの教育効果を高め、学習理解を助ける上で重要なアイテムが、教材です。長谷川准教授からは、子供たちの知的好奇心を刺激し、自然を探究する楽しさを味わうことのできる指導法や教材開発について研究。現在は、プログラミング教育に向けた教材開発を展開しています。「子供たちのプログラミング的思考を養成することを目的に、小学校では2020年からプログラミング教育が導入されました。プログラミングというツールを使って、自分で設定した課題を解決していくことで、論理的な思考を養うことが狙いです。実は、理科の授業とプログラミングは



1. 長谷川准教授が考案した、プログラミングとマイコンボードを活用した理科教材。2・3. 長谷川准教授の実験室には様々な機器が並び、ここで、学生とともに物性化学に関連した先端研究を中心に、教材開発にも取り組んでいる。4. 出雲科学館で毎年開催している「子ども科学学園」に講師として参加。様々な実験や体験を通じて理科の楽しさを伝えている。

相性が良いのです」と長谷川准教授。理科で行われるさまざまな実験は、コンピュータを活用することで自動化、効率化、高精度化が可能になります。しかし、実験の内容を的確に把握していなければ、プログラムを構築することはできません。「理科授業へのプログラミング導入は、理科の学習自体にも効果があるのです」。

教材開発には、初等教育で世界的に広く用いられているビジュアルプログラミング言語「Scratch」と、実験データをパソコンの外から取り込むためのマイコンボード「Arduino」を活用し、どの単元でプログラミングを導入できるか探っています。「たとえば温度センサーや光センサーをArduinoにつなげ、プログラムを組めば、設定した間隔でデータをパソコンに取り込んで画面に表示させることができるので、植物の生育条件などを夜間も継続して自動で観測できます。実験を効率的かつ高精度で行えるのが利点です」。

理科授業での実験を
効率的かつ高精度に



理科教師として必要となる自然科学に関する基礎的知識・技能や方法を学生たちに学んでもらう、教育学部理科教育専攻。長谷川准教授の研究室では、プログラミング教育に向けた理科の教材開発に取り組むとともに、ナノテクノロジーや電子デバイスなど最先端の科学研究にも挑んでいます。



PROFILE

教育学部 理科教育専攻
長谷川 裕之 准教授
はせがわ ひろゆき

プログラミング初体験は、小学校6年生の時でした。始めたばかりの「PC-8001」がある友人宅で、パソコン関連雑誌に掲載されているゲームのプログラムを夢中になって打ち込みました。今も物性データを測定するプログラムなどは自分で組み立てています。

研究室では現在、中学2年生で学習する「刺激と反応」を学べる教材開発に注力。LEDランプの点灯後、ボタンを押すまでの時間を測定し、目で受け取った刺激が脳や運動神経などを介して筋肉が反応するまでの時間を計ろうとするものです。現在教科書に載っている実験方法は、2人1組で実施し、ものさしの上端を持った人が手を放すと、下端に手を添えていたもう一人が即座にもものさしをつかむというもの。しかし、「2人の息が合い過ぎると、実験がうまくいかないことも」と長谷川准教授。「一方、プログラミングとマイコンボードを活用した機器を使えば的確に実験でき、刺激と反応の原理を理解しやすいと思います」と続けます。今後、附属義務教育学校の教諭らに相談し、授業の中で実践できる機会を模索していくそうです。

研究室では、ナノ単結晶材料の開発・応用や、生物の視覚機能を模倣した人工視覚機能デバイスの開発など最先端の科学研究にも取り組んでいます。「学生自ら科学の面白さを感じることが、理科の楽しさを味わえる教材開発にもつながるのです」。

補完代替療法と 西洋医学を組み合わせた QOLの向上を

科学的検証の実施で
臨床効果も確認



西洋医学だけでは治癒が難しかったり、副作用が生じたりする病気があるほか、治療を続ける上では心身のバランスも重要視される中、従来の通常医療以外の療法が目玉されています。統合医療・補完代替療法の正確な情報発信や、科学的検証に力を注ぐ臨床研究センター長の 大野智教授に話を聞きました。

統合医療とは？

| 療法の分類 | 療法の例 | |
|-------------------|--|------------------------------|
| | 国家資格等、国の制度に組み込まれているもの | その他 |
| 食や経口摂取に関するもの | 食事療法・サプリメントの一部（特別用途食品（特定保健用食品含む）、栄養機能食品） | 左記以外の食事療法・サプリメント・断食療法・ホメオパシー |
| 身体への物理的 刺激を伴うもの | はり・きゅう（はり師・きゅう師） | 温熱療法、磁器療法 |
| 手技的行為を伴うもの | マッサージの一部（あん摩マッサージ指圧師）、骨つぎ・接骨（柔道整復師） | 左記以外のマッサージ、整体、カイロプラクティック |
| 感覚を通じて行うもの | — | アロマセラピー、音楽療法 |
| 環境を利用するもの | — | 温泉療法、森林セラピー |
| 身体の動作を伴うもの | — | ヨガ、気功 |
| 動物や植物との関わりを利用するもの | — | アニマルセラピー、園芸療法 |
| 伝統医学、民族療法 | 漢方医学の一部（薬事承認されている漢方薬） | 左記以外の漢方医学、中国伝統医学、アーユルベータ |

近代西洋医学 ← 組み合わせ（補完・一部代替） →

統合医療



eJIMはこちらから



1.平成22年度厚生労働科学研究「統合医療の情報発信等の在り方に関する調査研究」で取り上げられた療法について、効果の有無を問わず整理したもの。（厚生労働省「統合医療」に係る情報発信推進事業「統合医療」情報サイト利用マニュアル2016年より）。2.医学部附属病院で鍼治療の臨床試験を行う大野教授。3.大野教授が作成に携った厚生労働省の「統合医療」情報発信サイト（eJIM）。

その95%が健康食品やサプリメントでした。また、その当時、「この食品でがんが治る」などの虚偽誇大の広告がまん延し、経済的なトラブルも浮上。国は、誤認させる表示や広告を禁止するよう法律を改正するほか、統合医療に関する正確な情報発信も進めてきました。

厚生労働省の「『統合医療』情報発信サイト（eJIM）」作成にも携わっている大野教授は、「いくつかの補完代替療法では科学的検証が行われ、臨床効果も確認されています」と紹介してくれました。がん領域では、ヨガが倦怠感を軽減することを証明した臨床試験や、プロバイオティクスが抗がん剤副作用による下痢を軽減させたとする論文などがあるそうです。大野教授も現在、東京大学や埼玉医科大学と、がん患者の協力を得て臨床試験を実施。抗がん剤治療による末梢神経障害（しびれ・痛み）に対する鍼治療の効果を検証しています。

ここで重要なのは、補完代替療法の多くは病気のものを治すわけではなく、心身の症状を和らげたり、治療に伴う副作用を軽減させたりする点です。ただ、利用にあたって注意点もあります。大野教授は、「たとえば抗がん剤治療で白血球や血小板が減っているときに鍼治療を行うと、感染症や出血

主治医らに頼って 効果的な活用を

心身を癒すこともある一方で、使い方が次第では毒々になる可能性もある補完代替療法。上手に活用するコツは何でしょうか。大野教授が一番に挙げるのが、主治医とのコミュニケーションです。「病氣と診断されると、不安や恐怖に襲われたり、治療選択に迷ったりします。そのような悩みを解消するため、補完代替療法を利用するケースが多いことが最近わかってきました。ですから、利用する前に、今抱えている悩みを主治医に伝えることで、よりよい解決策が得られる場合があります。もしかすると補完代替療法に頼らなくても済むかもしれません。主治医に限らず、看護師や薬剤師、がん相談支援センターなど窓口はたくさんあります。自分一人や家族だけで悩まず、声を上げてほしいです」。eJIMでは、各種施術療法の紹介だけでなく情報の見極め方なども掲載しています。的確な情報と、頼る力を持つ大切さを再認識したいものです。

PROFILE

医学部附属病院 臨床研究センター
大野 智 センター長・教授

消化器外科が専門でしたが、手を尽くしても亡くなってしまう患者が少なく、免疫療法も学び始めました。一方で、健康食品や免疫療法に多額な金額をつぎこんで後悔したり、だまされたりした人の声を多く聞いたため、正確な情報発信に注力するようになりました。



新たな測定手法などで 地形の形成過程を解明し 斜面災害の軽減を目指す

地質を的確に測定
降雨特徴の指標も確立

地球が誕生して46億年もの間、長い年月をかけて形成されてきた海、川、山や谷、平野などの地形。地形は、地球内部の力や天候、海の動きなどによって作られ、時と共に刻々と変化していきます。「約60年前に一部が崩落したという大田市五十猛町の崖を調べると、1500万年前の火山活動が影響していたことがわかりました。今起きている現象が、数百万年前に起因していることもあるのです」と小暮准教授。地形の変化は、土砂崩れや地すべり、落石などの形で災害を引き起こすこともあるため、地形形成プロセスの

解明は防災につながります。

斜面災害の軽減を目指し、小暮准教授が取り組んでいるのが、素因となる岩石の物理・力学的性質の確な測定です。「災害軽減という側面では、特に強度が重視されます。通常は、実験室で岩石を破壊して圧縮試験機で測定しますが、いろんな種類・形状の岩石が不規則に混在している地質では、場所によって強度がまるで変わってくるため、現場で非破壊式の道具を使って測ることもあります。測定の手法や評価はケースバイケースで、実は非常に難しいのです」。災害を引き起こす雨などの外的要因も、地域によって影響力に差が出ることがあります。「降水量の平均値が違えば、地質のメカニズムも違い、土砂崩れの危険性も異なります。同じ雨量でも、地域によって警戒度が違う点を指標として確立し、伝えていく必要があります」と。たとえば、過去に何度も時間雨量100ミリの雨が降っている地域と、30ミリ程度の地域を比較すると、100ミリ降った時の危険度が違ってくるというわけです。「地域によって、持っているスポンジの大きさや質が違

近年、増加傾向にある土砂災害被害。土砂崩れや地すべりのような斜面変形は、地質の性質や植生の有無などの素因と、雨や地震などの外的要因の相互作用によって引き起こされます。斜面災害の軽減を目指し、地形の形成プロセス解明に挑んでいる地球科学科の小暮哲也准教授に聞きました。



PROFILE

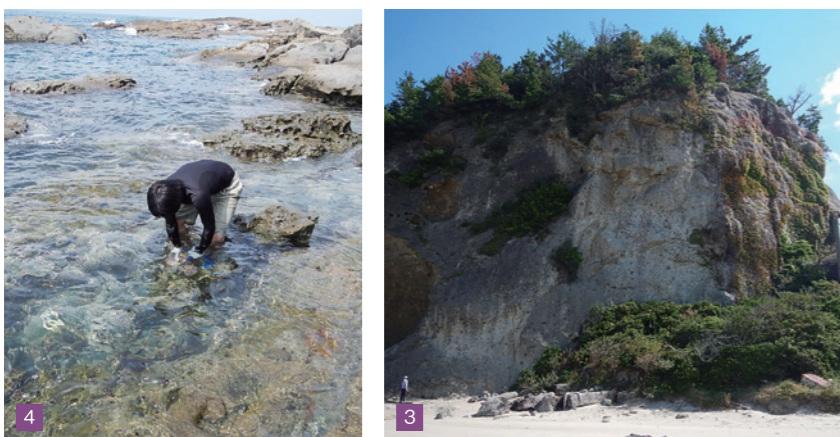
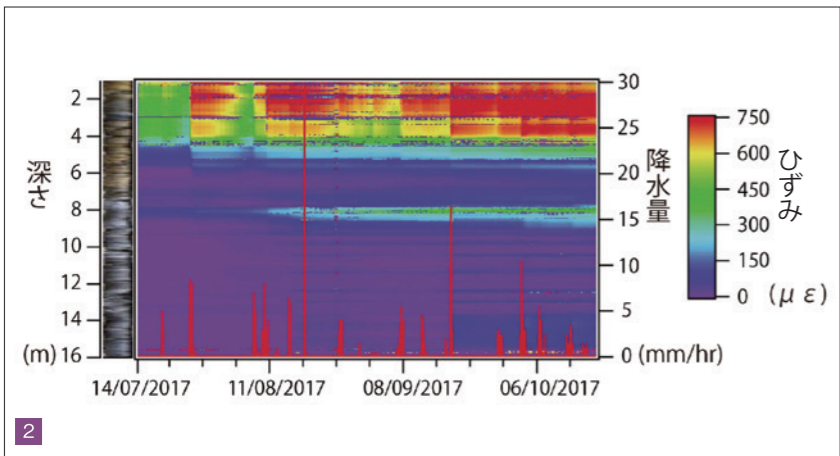
総合理工学部 地球科学科
小暮 哲也 准教授
こくれ てつや

小学1、2年生の頃に自然科学の本で見た、火山の赤いマグマと黒い岩石とのコントラストが強烈な印象として残り、地球科学に興味を持ち始めました。過去の研究結果にとらわれがちですが、実際に調査や実験を行うと予想外の結果が導かれることも多く、新たな発見や気づきが絶えません。

うと考えてみてください。吸収できずにあふれる量も違ってくるのが分かります」と。

光ファイバーを活用し 高精度のデータ収集

光ファイバーを活用した斜面変形のモニタリング手法の開発にも取り組んでいます。地すべり面の位置や活動状況を測定するためには従来、地下に数十メートルの穴を鉛直に掘って、ひずみゲージを貼り付けたパイプを入れ、50センチごとにデータを取る方法が採られていました。しかし、ひずみや温度の変化を周波数の変化として捉えられる光ファイバーを使えば、1センチ間隔でのデータ収集も可能になり、コストも大幅に減少。国が導入を進めた約20年前と比べ、近年は解析装置の高精度化などで測定値の信頼度もアップしました。小暮准教授は現在、他の研究者と共同で解析装置の開発を進めています。「土砂災害は、市民生活に大きく影響します。便利で高精度の手法を取り入れ、早期の被害対応や防災につなげていければと思います」。



1-3. 研究室の学生とともに、大田市五十猛町の崖を調査した際の様子。2. 2017年に島根県内で、光ファイバーを用いて調査を行った際のカラーマップ。降水(赤い線)の度に、深さ4メートルくらいまでの地盤がゆるんでいることが分かる。4. 文化庁から許可を得て行った、石見豊ヶ浦での波食棚構成砂岩と石灰質ノジュール採取の様子。

社会で活躍する卒業生

A graduate of Shimane University

No. 13

銀行員

卒業後も様々な分野で活躍する島大OB・OG。その中から、山陰をフィールドに活躍する注目の人を紹介するシリーズ企画です。今回は山陰合同銀行島大前支店で勤務する水さんに、現在の仕事内容やそこに至るまでの道のり、今後の展望についてうかがいました。



Profile 水 桃子 さん

株式会社 山陰合同銀行
島大前支店 融資・外為担当

島根県松江市出身。2015年3月に法文学部言語文化学科を卒業。2015年4月に山陰合同銀行へ入行。インターンシップや合同企業説明会への参加を通じて同行の魅力に触れ、入行を決意。3年前から島大前支店で融資業務を中心に担当している。

お客さまと向き合って
会話の時間を大切に
徐々に信頼関係を築く

山陰地方で最大規模の地方銀行「山陰合同銀行」。島根大学の目の前にある島大前支店で勤務するのが、水さんです。「銀行というと、なんとなく数学的な知識が必要なのはという不安もありましたが、周りには文系出身者も多く、先輩方も丁寧に教えて下さるので、その不安はすぐに解消されました。入行後2年ほどは窓口での業務、その後、個人向けの投資等、資産運用のプランを提案する営業を経て、現在は個人向けの融資業務や、海外への送金業務を担当しています。

「融資業務では住宅ローンを中心に案内しています。住宅ローンは普段聞き慣れない専門用語が多いので、私自身先輩方に教えていただきながら、分かりやすい説明を心がけています。家は大きな買い物なだけあって、不安な気持ちで相談に訪れる人も多いそうで、水さんが最も大切にしているのはお客さまとの会話です。お客さまによって知りたい内容の深度も違い



融資業務では現在40~50名ほどの顧客を担当しています。

人に対する積極性が
現在の業務でも活きる
より信頼される銀行員に

大学時代と変わらず、業務でもしっかりとコミュニケーションを取しながらお客さまの対応をする水さん。「お客さまとの会話の中で、お客さまが求めることや不安に感じている部分を把握した上で、提案に活かしていく。様々な背景を持つお客さまとの関わり方というのは、大学時代に培った積極性や経験が役立っていると実感しています。銀行はいろいろな人と関わることができる職場です。人との関わりのおかげで私自身の知識の幅も広がります。これからもっと積極的にいろいろなことを吸収し、お客さまに頼りにされる銀行員になりたいです。」

ますし、家族構成や家計の状況も様々です。内容上、プライベートな部分にも触れるので、それぞれの方が何を求めて相談にいられたのか、まずはしっかりコミュニケーションをとって、徐々に信頼関係を築いていくようにしています。1件の相談期間は半年から1年くらい長期にわたるそうです。「相談内容をもとに提案させていただいた内容で、お客さまに喜んでいただいたり、あなたに頼んで良かったと声をかけていただいた時は本当に嬉しいです。信頼していただけて任せてもらえるというの

は仕事のモチベーションにもなっています」。また、島根大学に近い支店ということもあり、留学生が手続き等に訪れることも多く、そういった場合に水さんに対応を依頼されることも少なくないそうです。「流暢に英語が話せるわけではないですが、大学時代に英語の研究室で学んだ経験を活かしていると思います」。

様々な出会いがあったと言います。「キャリアセンターが当時開講していた就業力育成特別教育プログラムを受講したのですが、その授業では、松江市の企業を訪問して社長さんにインタビューし、その内容を発表する経験もしました」。この授業がきっかけで、広島県で開催された地域中小企業の人材確保・定着支援事業「魅力発信グランプリ」にも発表者として参加し、入賞も果たしました。

島根大学在学中、水さんは米・ヨーロッパ言語文化分野の研究室に所属していました。「担当教員が外国人の先生で、会話の絶えない明るい研究室でも楽しく過ごせました。留学生も在籍していたので、自然と英語に触れられる環境でした」。日常的に海外との交流が多く、1年生の時にはフロリダで1か月間の語学研修も経験しました。

大学で積極的にいろいろな人とコミュニケーションを取ることができていた水さんは、就職活動でも積極的に学外へ出かけ、

読者の声

広報しまだい vol.49に寄せられた声をお届けします。

島大卒業生の他県での活躍も知りたいです。

(島根県松江市・50代女性)

地域社会の日常生活の中でより身近に感じられる「しまだい」の姿をお知らせください。

(島根県出雲市・50代女性)

新しい研究棟を活用した新しい研究をもっと紹介してもらえたらと思います。

(広島県世羅郡・50代男性)

島大生の活躍のコーナーで、将来に繋がる島根を考える若い力を嬉しく思いました。

(島根県浜田市・60代女性)

最新設備のぞき見!



複合ビーム加工観察装置 (FIB-SEM)

ナノメートルレベル(距離感で例えるなら100km先の人の顔を判別できるような感覚!)で観察しながら、金属試験片の表面にビームを照射し加工を繰り返すことで立体的に観察することができる電子顕微鏡です。

NEXTAフレンズ 参加者募集!

中高生のみなさんとNEXTAを繋げるネットワーク「NEXTA フレンズ」を立ち上げました。金属やものづくりに興味がある!アカデミックな体験をしたい!世界で活躍したい!そんな皆さんの参加をお待ちしています。

NEXTAってなに?

NEXTAの最新情報をお届け。金属をゆる〜く知るマンガも配信中!



NEXTAをもっと知りたい!

学生や教員の学習や研究の様子、卒業生の活躍など未来を広げる情報はここから!



News 3

NEXTAデザインの自動販売機が登場!

協同組合島根県鐵工会様の内陸倉庫新事務所が完成し、新しい事務所と倉庫に「次世代たたら協創センター支援型自動販売機」が設置されました。9月15日(水)にはお披露目式が開催され、協同組合島根県鐵工会の児玉理事長を始めとした役員の皆様、本学から服部学長、大谷理事、学生が参加しました。

この自動販売機の売上の一部は、本センターで学ぶ学生へのたたら奨学金として活用されます。NEXTAでは、ご支援いただいた協同組合島根県鐵工会様を始めとする地元企業、地域産業の活性化に貢献できるよう研究を進めてまいります。



News 4

出雲高校の生徒39名がNEXTAを訪問

10月4日(月)、出雲高校の理数科2年生39名がNEXTAを訪問し、体験学習会に参加しました。NEXTAの概要説明とラボツアーの後、「材料の変形と破壊」や「焼結を体験してみよう」など7つのグループに分かれて体験学習が行われました。生徒達は初めて見る機器や金属材料に戸惑いながらも、熱心に参加し楽しんでいる様子が見られました。



たたら通信

次世代たたら協創センター(NEXTA)の旬な情報をお届けします!

News 1

材料工学特別コースの授業がスタート!



今年度から総合理工学部が開講された「材料工学特別コース」は、5つの学科(物理・マテリアル工学科、機械・電気電子工学科、物質化学科、知能情報デザイン学科、数理科学科)を横断する新しい教育コースで、材料工学を中心とした専門知識やグローバルで活躍できる英語によるコミュニケーション能力を身に付け、金属関連産業のイノベーションを担う人材を育成することを目指しています。

コースの教育プログラムとして、「NEXTA特別深化プログラム」「マテリアル×多分野プログラム」があり、この度「NEXTA特別深化プログラム」生として3名の学生が選ばれ、10月6日(水)より、プログラム生専用の科目「NEXTAセミナーI」の授業が始まりました。

次世代たたら協創センターでは総合理工学部と連携して材料工学分野の人材育成を進めます。

[VOICE]



総合理工学部
機械・電気電子工学科 1年
宗接 莉公人

私は幼い頃から綺麗で丈夫な金属が大好きで、大学生になってもその気持ちは変わりませんでした。そんな金属に対する熱意を何かに役立てたいと考え、材料工学特別コースに参加しました。授業を通して、無限の可能性を持つ金属材料についてもっと知りたいです。

News 2

耐熱材料について英語で学ぶweb授業を実施



9月6日(月)~9月10日(金)の5日間、耐熱材料について英語で学ぶ集中講義が行われました。

今回の講義は、NEXTAセンター長のロジャー・リード教授をはじめ、耐熱金属材料を専門とする教授陣が島根大学の学生のために収録したビデオ講義と、オンラインによる質疑応答や演習を組み合わせて実施されました。

講義終了後、グラハム・マッカートニー教授から「1週間とても熱心に取り組んで頂いた。将来、金属関連分野で活躍する人材となってほしい」とメッセージが送られ、学生からは「英語でかつ内容も高度だったため、ついていくのは大変だったが、イギリスの先生の講義を生で受講できたことはとても新鮮だった」などの感想がありました。



9月6日から募集を開始した法文学部の宮本恭子教授によるクラウドファンディング「ヤングケアラート」が、10月6日に募期間終了を迎えました。皆様の温かいご支援に支えられ、当初目標としていた20万円を大きく超える52万3000円のご寄附を頂くことができました。

「ヤングケアラート」とは、通常であれば大人が担うとされるような負担と責任を背負って家族の世話をしている18歳未満の子どものことをいいます。今回のプロジェクトでは、ヤングケアラート同士が交流できるサロンを作るほか、ヤングケアラート問題を正しく理解し、必要な支援を学ぶために定期的な勉強会の開催を企画しています。勉強会は、島根県内の会場と、全国から参加できるようにオンラインとのハイブリッドで行う予定です。

勉強会の成果は、ヤングケアラート支援の参考となるよう、ハンドブックのような冊子を刊行し、社会に広く発信していく予定です。

TOPICS
4
ヤングケアラート同士のコミュニティづくり
クラウドファンディング第9弾の目標達成

しまだいい便り
大学の旬な情報をお届け

島根大学が学内外問わず行っている多彩な活動の中から大学の今がわかる選りすぐりの情報をお伝えします。

TOPICS
1
『日経グローバル』発表の大学の地域貢献度ランキング
島根大学が全国総合6位に



10月4日発行の『日経グローバル』421号で発表された「大学の地域貢献度調査」で、島根大学は全国総合6位になりました。このランキングは、日本経済新聞社が全国761の国公私立大学を対象に「地域貢献度」の調査を行い、その回答を基に5つの分野の得点を合計して順位づけしたものです。

今回の調査では、新型コロナウイルスの感染拡大やSDGsへの世界的な関心の高まりなどを踏まえ、前回(2019年)の調査であった「グローバル」分野から「SDGs:コロナ対応」分野へ項目の変更が行われました。島根大学では「地元企業とのオンラインインタラクション」を共同開発した事例が紹介されるなど、地域に根ざした活動を継続的に行ったことで2回連続トップ10入りを果たしています。

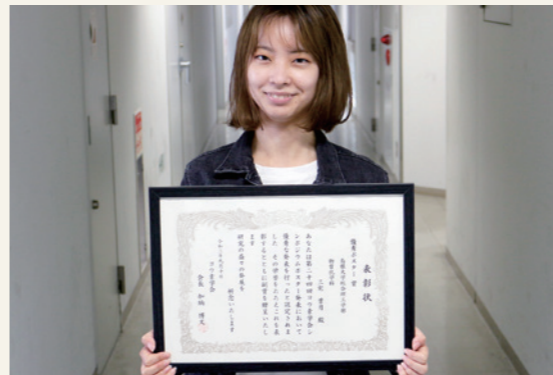
島根に活きる大学として、今後も地域と一体となって様々な課題に対応し、社会に貢献していきます。

TOPICS
2
重度障害児の支援技術が高く評価
日本デジタルゲーム学会で奨励賞を受賞



自然科学研究科理工学専攻機械・電気電子工学コース2年の岩崎允宣(まさのぶ)さんが、9月に行われた日本デジタルゲーム学会夏季研究発表大会において、学生会奨励賞を受賞しました。発表タイトルは「重度障害児の『おもちゃ遊び』を可能にする視線入力アプリの開発」で、研究室で開発しているEyeMOTシリーズとして広く公開しており、多くの支援学校・障害者施設や家庭で活用されています。機械・電気電子工学領域のヒューマンインタフェース研究室で重点的に取り組んでいる重度障害児の支援技術が高く評価されました。

TOPICS
3
環境負荷の低い合成手法を見出す
総合理工学部学生が優秀ポスター賞受賞



9月に開催された第24回ヨウ素学会シンポジウムにおいて、総合理工学部物質化学科理工特別コース4年生の三宅葉月さんが、「優秀ポスター賞」を受賞しました。三宅さんは、ビタミンB2誘導体とヨウ素を触媒として用いることにより、空気中の酸素を使用する環境負荷の低い手法で化合物の炭素原子と炭素原子を結びつけることができることを見出し、発表しました。

本研究は、近年の国際目標であるSDGsの実現を目指す試みの一端です。

TOPICS
5
「就農支援リカレント教育プログラム」受講の募集開始
県内就農につながるリカレント教育



島根大学は、文部科学省「就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業」に採択され、島根県で就農を夢見る方に向けた、農業の専門知識を獲得するための「就農支援リカレントプログラム」を実施することとなり、9月より受講の募集を開始しました。このプログラムは、本学を中心に関係機関と連携して形成されています。今後、県内就農希望の受講者へしっかりと支援を行ってまいります。

TOPICS
6
研究交流や交換留学の活発化に期待
サンパウロ大学との教員交流会を開催



9月10日、令和2年7月に協定を結んだブラジル・サンパウロ大学哲学学人間科学部と本学法文学部の教員による交流会を開催しました。サンパウロ大学からは3名、本学からは8名が参加し、まずは双方の自己紹介から始まり、今後の研究交流の可能性やお互いに質問してみたい話題に移りました。サンパウロ大学と本学との今後の研究交流、交換留学、大学院のダブルディグリー制度設立に向けて大きな一歩となりました。

読者の声
Voice

広報しまだいい
vol.49に
寄せられた声
をお届けします。

SDGsのマークは分かりやすく良い。
地方大学が世界と
繋がっているんだと感動します。
(島根県出雲市・60代女性)

専門的なことですが、
より読者に分かりやすい
学科紹介なども期待しています。
(島根県大田市・60代女性)

最先端の技術開発と
社会への貢献、すばらしい!
(島根県松江市・60代女性)

誌面の都合もあると思いますが、
広報誌の次号予告が
あると良いなと思います。
(島根県江津市・40代女性)

松江
キャンパス

女子ラクロス部



学生主導のチーム運営！ 勢いのある女子ラクロスチーム

ラクロスは、オリンピック競技種目の候補にあがっているほど、近年特に注目されているカレッジスポーツです。私たちは「学生主導」をテーマとして専任コーチをおかず、全て自分たちでチームを運営しています。部員全員が試合で活躍できるようなチームを目指して、1人1人が主体的に練習に取り組んでいます。次の夏のリーグに向けて一層強くなれるよう、全員で日々試行錯誤しながら活動しています。

Shimadai's Circle

しまだい CLUB & CIRCLE INFORMATION

各キャンパスでそれぞれの特色を生かして活動する島大生。運動系や文化系はもちろん、大学を飛び出して活動する団体もあり、活躍の幅は様々です。そんな各団体について、実際の活動内容を交えて紹介します。

出雲
キャンパス

医学部水泳部



初心者から経験者まで楽しく練習 西医体で男女共に総合3位入賞

水泳部の特徴は、大学で始めた初心者から大会で成績を残すほどの経験者までいることです。健康維持やタイムの向上、技術の穴進などそれぞれが様々な目標を持って活動しています。練習メニューも自分たちで考えるため成果が出た時の喜びは大きいです。タイム計測をするマネージャーも部には欠かせない存在です。西医体(※)では大学対抗で入賞もできました。今後も大会などで部員それぞれが成果を出せるよう頑張っていきたいと思えます。

※西日本医科学学生総合体育大会

出雲
キャンパス

医学部 ガーデニングクラブ



大地に生命を育む活動を通して 第一次産業を担う人材を育成

近年日本では、少子高齢化が進むにつれて、日本経済の根幹である第一次産業の従事者は減少傾向にあります。私たちの主な活動は、花卉(鑑賞用の植物)栽培です。活動を通して、自分たちの手で大地を開拓する重要性を理解し、花卉栽培の喜びを享受できる人材の育成を目指しています。本部活の卒業生が将来、医療だけでなく第一次産業の分野でも輝くことを願っています。

私たちが
学生広報サポーターです！



本学の広報活動をサポートする学生広報サポーター。令和3年度は、松江キャンパスの5学部すべてから学生が加入し、総勢17名体制で活動しています。様々なことに興味や関心のあるメンバーが揃いました。学生による取材記事は、大学ホームページのほか公式TwitterやFacebookで随時公開しています。

Instagramアカウント

「学生広報サポーター」が、島大生のキャンパスライフなどを紹介しています！



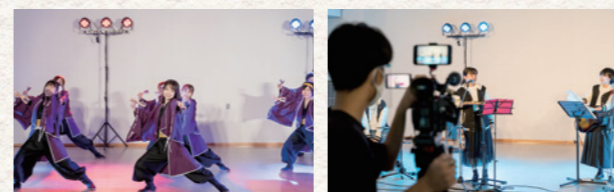
大学祭「凧風祭
繋 connect」
の裏側に潜入！



10月9日と10日の2日間、島根大学大学祭「凧風祭 繋 connect」がオンラインで開催されました。10日にYouTubeライブで生パフォーマンスを披露した「松江よさこい連國美輝」と「弾き語りサークル スナフキン」を直撃取材したほか、実行委員長の釘本蓮さんにも当日を迎えた心境を伺ってきました。

配信当日、実行委員会の方々はぎりぎりまで裏方スタッフや出演者と打ち合わせをして、少しでもトラブルを減らそうと奮闘されていました。パフォーマンスをされた方々も、実行委員の方々の熱い想いに応えるように、全力でパフォーマンスをされていました。その熱気はこちらにもひしひしと伝わってきて、彼らの本気度を感じました。

インタビュー全編は
こちらからご覧ください



学生 広報サポーター

レポート



島根大学では、学生の視点や発想を生かしながら、ボランティアで広報活動を行う「学生広報サポーター」制度を設けています。学生広報サポーターの記事の一部を紹介します。

キャリアデザイン
プログラム生が
堀川遊覧船と企画



堀川遊覧船の学生割引および、SNS投稿での割引キャンペーンが、10月6日から31日までの期間限定で行われました。島根大学キャリアデザインプログラムの大学生集客プロジェクトで、名越千夏さん(生物資源科学部1年)、高木理莉乃さん・坪倉茜さん(法文学部1年)、西野有美さん・橋本初花さん(人間科学部1年)の5名が企画しました。『大学生の間だけ島根で過ごすという学生にも、松江の魅力を説明できるほど知ってほしい』という堀川遊覧船の方と共通の思いを持っていました。クルーズ中、橋下を通過する際に屋根が下がることもあり、「洞窟のようで楽しい」、「他の大学生にも体験してほしい」と語ってくれました。船頭さんのお話も、人や回によって異なるそうで、何回乗っても楽しめるようです。



人と木を結ぶ
木造住宅の建築に欠かせない
合板の製造で、
国内シェア約30%を持っています。

NISSHIN
松江・浜田・境港を中心に
日本一のメーカーをめざしています。

日新ホールディングス株式会社
〒690-0887 島根県松江市殿町 383 山陰中央ビル 4F
TEL 0852-33-7830
NISSHIN GROUP WEBSITE
https://www.nisshin.gr.jp

GLOBAL

高機能治具で
モノづくり支援

しまだいOBも活躍中!

株式会社グローバル 出雲工場
出雲市小境町1700番8 TEL.0853-67-9030
http://www.gl-b.co.jp/

NSK
日本システム開発

先進のIT技術で
未来を拓く。

エンタープライズ系・組み込み系のソフトウェア受託開発を
メインに、研究開発にも積極的に取り組んでいます。

日本システム開発株式会社 本社:名古屋 事業所:東京、松江
〒690-0003 松江市朝日町480番地8 松江SKYビル3F
TEL:0852-28-7175 FAX:0852-28-7233 HP: https://www.nskint.co.jp/

一おしたへ、未来へ
地域創造企業

おかげさまで36周年
SHOWA

私達は、ものづくり支援で、未来の扉を開く
あなたのベストパートナーとして一緒に輝きます。

http://www.showa00.co.jp/

建設コンサルタント・補償コンサルタント・測量・地盤調査・地盤改良工事
株式会社昭和測量設計事務所
あしたへ、未来へ
求人のお問い合わせは 営業エリア: 島根、広島、山口、鳥取、岡山
【益田本社】島根県益田市高津四丁目14番6号 【浜田事務所】島根県浜田市治和町H32-11
TEL (0856) 23-6728 FAX 23-6573 【営業所】松江・川本

荒れた森林を元気にしよう!
私たちは森林保全の輪を広げる活動を展開しています。

みんなを
守ろう!

山陰合同銀行

信頼の実績・高品位ソフトウェア開発

SOFT KAIHATSU
Everything begins with one will.

株式会社ソフト開発

東京本社: 東京都町田市鶴岡 TEL:042-795-7613
広島オフィス: 広島市安佐南区西原 TEL:082-850-0877

希望に満ちた
未来ある若人を
応援します

島大出身の社長とメンバーが数人、一緒に働く仲間 募集中です!

http://www.softkaihatsu.jp

スッキリとした味わいで料理との相性も抜群!!
島根大学の芋焼酎 **神在の里**

生物資源科学部神西砂丘農場で栽培された
サツマイモから誕生した「芋焼酎」

●神在(かみあり)の里(720ml)は化粧箱に入った2本セットもあります。

■神在の里の取り扱いお問い合わせは
島根大学生生活協同組合
〒690-8504 島根県松江市西川津町1060 Tel0852-32-6242
https://www.shimadai.coop/

WE LOVE SUN-IN!

楽しい街づくり
に貢献します

Webは
コチラ!

株式会社メリット 松江事務所
本社:島根県松江市志保5-1-7 設立/1991年3月 ■採用支援サービス・タウン情報誌の発行 ■求人情報サイト運営 ■広告代理業 他

TEL.0852-23-2230 (月曜-土曜 10:00-18:00)

広告募集

広報しまだいでは、企業・団体様等からの
広告を募集します。

島根大学企画広報課
TEL: 0852-32-6603
gad-koho@office.shimane-u.ac.jp

YANMAR

ディーゼルエンジン用部品/産業機械用部品
鋳物業材~加工完成・組立一貫生産

テクノロジーと信頼で『夢・希望・未来』を創出する

ヤンマーキャステクノ株式会社

(本社・松江事業部) 〒690-0025 島根県松江市八幡町960番地 ☎0852-37-1355
(甲賀事業部・鍛造技術センター) 〒520-3233 滋賀県湖南市柑子袋360番地 ☎0748-72-0800

https://www.yanmar.com/jp/about/company/ycat/

島根大学支援基金より

島根大学支援基金では、皆さまからいただいたご寄附を地域や世界で活躍する人材育成のために
活用させていただいております。何卒ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

使途F「しまね未来人材育成に対する支援」の新設について

島根県の将来を支えていく意欲を持つ優秀な人材を
育成するとともに、島根県内への企業等に就職を希望す
る学生を増やし県内定着促進に寄与することを目的とし、
新たに使途区分F「しまね未来人材育成に対する支援」
を新設しました。

「県内定着奨学金制度」を設け、島根県内の事業所等
に正規職員として就職等を希望し、県内に定住する予定
の学生に給付型の奨学金を支給します。



支援基金についての詳細は支援基金HPをご覧ください。支援基金
パンフレットをご請求ください。支援基金へご支援いただける場合は、支
援基金HPから手続きいただくか、支援基金パンフレットによりお願いいた
します。なお、パンフレットはお電話でのご請求も承っております。

お問い合わせ先 **島根大学総務課支援基金担当**
TEL 0852-32-6015
Mail sienkk@office.shimane-u.ac.jp
https://www.fund.shimane-u.ac.jp/

支援基金HP

島根大学支援基金 寄附者一覧

島根大学支援基金は、皆さまからのご寄附を学生支援等に活用させていただく仕組みです。
パンフレットは上記ホームページにも掲載しておりますが、郵送もいたしますので、お問い合わせください。

ご協力ありがとうございました。 ※(単回)令和3年5月1日~令和3年9月30日に5千円以上のご寄附をいただいた皆さま(五十音順・敬称略)
※(継続)令和3年度にご寄附をいただいた皆さまのご芳名は、令和4年7月号に掲載させていただきます。

| | | | | | | | | | | |
|---------------|------------|-----------------------------------|------------|------|-------|------|-------|-------|------|-------|
| 冠 寄 附 | ごうぎん一粒の麦の会 | ごうぎん一粒の麦の会基金(新型コロナウイルス感染症に係る学生支援) | | | | | | | | |
| 法人等からのご寄附(単回) | 株式会社柳館 | 神田内科小児科 | まるなか建設株式会社 | | | | | | | |
| 個人からのご寄附(単回) | 荒木貴郎 | 荒木 卓 | 有馬毅一郎 | 石黒信幸 | 石崎正信 | 石橋直樹 | 伊藤幹夫 | 居原田洋子 | | |
| | 上津原雄一 | 上野 誠 | 大島和典 | 太田勝巳 | 大野敏之 | 大庭晃一 | 大浜誠一郎 | 大矢敬子 | 鬼形和道 | 小野寺隆平 |
| | 尾原美和子 | 金山富美 | 河合康則 | 川口公男 | 川路澄人 | 川島雅之 | 河添達也 | 川本謙一 | 亀甲保弘 | 熊澤 修 |
| | 高妻孝次 | 河野美江 | 小谷美保 | 小林祥泰 | 近藤揚輔 | 近藤慶和 | 坂本年功 | 坂本英明 | 佐々 守 | 嶋江政喜 |
| | 庄司 凡 | 鈴木寛司 | 須藤發夫 | 須山弘一 | 瀧 俊郎 | 田坂郁夫 | 田中多恵子 | 田中 滋 | 田中直人 | 田中英也 |
| | 出川芳明 | 道坂洋治 | 豊澤賢明 | 中島 修 | 永田まち子 | 永森忠嗣 | 名取瑞樹 | 滑 純雄 | 成田 健 | 西村隆正 |
| | 農守浩治 | 服部泰直 | 羽地信子 | 原田裕司 | 久富公資 | 百留亮治 | 福島律子 | 福田洋二 | 藤田晴生 | 藤本正昭 |
| | 堀口麻里 | 増永二之 | 増本千宙 | 松浦晃幸 | 馬庭壯吉 | 三木 潔 | 三島和人 | 三谷重信 | 山本廣基 | 山本 浩 |
| | 山本則文 | 横井昌治 | 吉木 茂 | 吉見 顕 | | | | | | |

※ご寄附をいただいた皆さまの中で、「HP等への掲載を希望しない」とされた方は、掲載しておりません。

編集後記

いよいよ冬も本番となってきました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。

さて今号の巻頭特集では、「島根創生計画」を掲げ地方創生に取り組む丸山島根県知事と「島根大学ビジョン2021」を掲げ地方創生への貢献を目指す服部島根大学長との対談をお届けしました。対談は終始和やかな雰囲気が進み、島根県と島根大学の協働による地域の活性化等について、それぞれトップとしての想いをお話いただきました。今後も、広報誌等を通じて、「島根創生」の実現に向けた本学の様々な取り組みをご紹介していきたいと思っております。

最後に、本学では3月に「古代出雲文化フォーラム 古代出雲から中世へ~日本海を動く人とモノ~」を開催します。イベントの詳細は、裏表紙をご確認ください。

投稿のお願い

「広報しまだい」は、島根大学と地域の方々の相互理解を大きな目的としています。島根大学から地域に情報を発信してほしいこと、地域の方々からの島根大学に関する話題、島根大学に対する要望、その他ご意見、ご質問などをお気軽にお寄せください。ご投稿お待ちしております。

投稿先 **こちらからもアクセスできます**

〒690-8504
松江市西川津町1060
島根大学 企画広報課
TEL.0852-32-6603
FAX.0852-32-6630

E-mail gad-koho@office.shimane-u.ac.jp
HP https://www.shimane-u.ac.jp

PRESENT

ご意見をいただいた皆さまの中から抽選で5名様に、島大農場で収穫・加工した「ブルーベリージャム」「りんごジャム」各1瓶をセットにしてプレゼントします。

※当選者のお知らせは発送をもって代えさせていただきます。
※応募締切/令和4年3月4日(金)必着

古代 出雲 IX 文化フォーラム

Forum on Ancient Izumo Culture ~日本海を動く人とモノ~

令和4年 3月5日(土)

●第1部：シンポジウム ●第2部：島根大学の取組

会場 島根大学松江キャンパス 大学ホール
松江市西川津町1060

時間 13:30~15:45 開場 12:30~

定員 150名

参加費 無料 対面については事前申込必要
(下記「開催方式について」もご確認ください)

オンラインで動画同時配信

島根大学動画サイト「島根大学チャンネル」にて配信
<https://www.youtube.com/user/ShimaneUniv>



古代から中世にかけての時代、日本海の大海原を舞台に出雲から世界へと国の枠を越えて人とモノが躍動していました。今回のフォーラム第1部では、古代および中世に焦点をあて、日本海交易の拠点だった出雲と各地とのグローバルな交流史について考えていきます。

第2部では、こうした国際交流の歴史をもつ地に生まれた世界的な研究拠点「島根大学次世代たたら協創センター (NEXTA)」についてご紹介します。



伯耆国河村郡東郷荘下地中分絵図 (東京大学史料編纂所蔵)の一部



沖手遺跡柱穴群
(写真提供: 益田市教育委員会)



沖手遺跡出土青磁
(写真提供: 島根県立古代出雲歴史博物館)



稲佐の浜

開催方式について

新型コロナウイルス感染症の感染状況により、オンラインのみの開催やご来場いただける方を制限する場合がございますので、予めご了承下さい。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

会場は収容可能人数の50%に抑え、席の間隔を取り、換気を行います。

ご来場の皆様には、マスク着用、受付時の体温モニター、手指の消毒などにご協力をお願いいたします。

【主催】島根大学

【共催】島根県・島根県教育委員会・松江市・浜田市・出雲市・益田市・雲南市・奥出雲町・飯南町

【後援】文化庁・安来市・TSKさんいん中央テレビ・山陰中央新報社・BSS山陰放送・日本海テレビ・山陰ケーブルビジョン・株式会社山陰合同銀行



人とともに 地域とともに
国立大学法人
島根大学

島根大学企画部企画広報課

〒690-8504 島根県松江市西川津町1060
E-mail: forum@office.shimane-u.ac.jp
<https://www.shimane-u.ac.jp/>

古代出雲文化フォーラム区 検索



TEL 0852-32-6603
FAX 0852-32-6630